

一 般 質 問 通 告 書

佐野市議会議長 様

		受 付	番号 1 5
			令和 8 年 8 月 2 7 日
			午後 2 時 4 5 分
議会名	令和 8 年 第 3 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 5 番 立川 俊一		
答弁を求める者 (選択してください)	☐ 市長 ・ ☐ 副市長 ・ ☐ 教育長 ・ ☐ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	☒ あり (☐ 資料提示 ・ ☐ 資料配付 ・ ☐ モニター使用) ☐ なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 病児対応型保育について	①令和 7 年第 4 回定例会で、今年度を目途に行うと答弁された「より詳細な調査」に関して、現時点でどのような調査・検討が行われているか、進捗をお伺いします。		
2. 学校における医療的ケア児支援について	①市立小中学校、義務教育学校に在籍している医療的ケア児の在校時間と学校配置看護師の勤務時間の関係についてお伺いします。 ②保護者が学校に来て医療的ケアを行ったり、児童生徒自身が自ら医療的ケアを実施する際に学校看護師以外が見守ったりするケースについての現状と本市の見解をお伺いします。 ③現在の学校看護師の勤務時間の見直し、代替看護師や訪問看護ステーション等の活用も含め、医療的ケア児の在校時間帯に医療的ケアを途切れさせない体制を構築することの必要性について、本市の見解をお伺いします。		
3. 学校教育について (1) 教育課程について	①中学校及び義務教育学校後期課程の授業時間は通常 50 分間ですが、本市には 45 分間で教育課程を編成している学校があります。授業時間変更の目的と短縮された 5 分間への対応についてお伺いします。		

	②①に関する、各教科の年間指導計画上における位置付けについて、本市の見解をお伺いします。 ③授業時間の短縮は、学力の二極化を招きかねないと考えますが、本市の見解をお伺いします。
(2) 佐野義務教育学校整備事業について	①令和8年第2回定例会で、城東中学校区小中一貫校は統合時点で18学級を下回る見込みだとの答弁がなされました。この最新の推計に基づけば、同校整備事業の要求水準書にある普通教室20室は過剰設計となりかねず、コスト縮減の観点から変更を検討すべきと考えますが、本市の見解をお伺いします。 ②施設一体型義務教育学校に関して、「敷地が狭く、校庭の利用に制限がかかりやすい」という意見がありますが、佐野義務教育学校の屋外運動場の予定面積と、これに対する本市の見解をお伺いします。
(3) 学校整備費用について	①佐野市立学校個別施設計画における「長寿命化型の将来の更新費用試算」その他計画に基づき、今後整備が進む佐野義務教育学校以降の4校の統合前の各校のうち、佐野小、城東中、田沼小、吉水小、栃本小、多田小、田沼東中、城北小、犬伏小、犬伏東小、北中に関して、長寿命化改修を実施した場合の事業費見込額をお伺いします。 ②①の財源内訳についてお伺いします。
(4) 少人数学級について	①本市独自で30人学級、25人学級を小学校及び義務教育学校前期課程の低学年に導入する場合の本市の財政負担についてお伺いします。
(5) 学校教育との連携による二地域居住・地方移住の促進について	①地方移住等に伴う区域外就学制度を導入することは、二地域居住・地方移住の促進や児童生徒の多様な価値観の醸成に資すると考えられますが、本市の見解をお伺いします。